

## 手術看護の質向上を目指す研究 【消化管外科の手術を受けた患者さんへ過去の診療データ使用のお願い】

当院の手術室では、患者さんに、より安全で質の高い看護を提供できるよう、看護師の専門性の向上に日々取り組んでいます。特に、熟達した看護師が行っている優れた判断や、状況に応じた柔軟な対応（いわゆる「コツ」や「感覚」）は、言語化が難しく若手への指導や共有が困難という課題があります。

本研究は、手術室看護師への実践についての聞き取り調査の結果と、患者さんの診療データを関連付けて分析し、手術室看護師の行動の中にどのような考え方や判断があるのかを言語化することで、若手育成や手術看護の質向上を目指すものです。

本研究の趣旨をご理解いただき、診療データの利用にご協力をお願いいたします。

以下の内容をご確認され、データ使用に同意いただけない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

○この調査研究は福岡市民病院倫理委員会で審査され、病院長の承認を受けて行われます。

研究期間：倫理委員会承認後～2026年3月31日

対象期間：2025年8月1日～2025年10月31日

対象となる方：対象期間中に福岡市民病院で消化管外科の手術を受けた患者さん

利用させていただくデータ：

- ・診療録（カルテ）、手術記録、麻酔記録、看護記録の一部
- ・データに含まれる情報：年齢、性別、手術名、麻酔方法、手術時間、出血量、術中の血圧・脈拍などのバイタルサインの変化、看護師の術中・術後の特記事項など

○過去のデータを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、またデータを使用させていただいた患者さんへの謝礼などもありません。

○使用するデータは、個人が特定されないよう匿名化を行い、個人情報に関しては厳重に管理します。

○研究の成果は、学会や論文などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人を特定するような情報が公開されることなく、個人情報は守られます。

### 【問い合わせ先】

福岡市民病院 手術室 看護師長

研究責任者：大野由美

TEL：092-632-1111(代) FAX：092-632-0900 (代)